

枝の美しさを活かした 飛驒産業の家具kinoe

kinoeは、木の「枝」を家具に用いています。これまでチップ燃料などに利用される他は捨てられていた枝ですが、製材された木材にはない特徴的なライン、幹を凝縮したような木目の美しさなどは、枝ならではの魅力といえます。その魅力に向き合うことで木の美しさを再発見し、素材の個性を深く観察したモノづくりを目指し情緒豊かな椅子が生まれました。



kinoe by Ibuki Kaiyama

ウェグナー初期の名作 CH22 CH26が復刻!

Carl Hansen & Sønではウェグナーの初期の名作、1950年デザインのラウンジチェア CH22 を復刻しました。この椅子のダイニングチェアバージョンCH26を図面に残しています。一度も生産されることなく、試作品さえ現存していません。白木を用いたオーガニックなフォルムと構造、印象的な背もたれ、ペーパーコードを張った座面、と共にしたデザイン。



CH22 CH26 by HANS J. WEGNER

arflexの新作ソファは 女性の穏やかな力強さ

北欧出身のAnna von Schewenによる、圧迫感のないハイバックソファです。ふくよかなフォルムとダブルパイピングにより、優しい印象に仕立てられています。柔らかめのシートは座った時のストロークが大きく、程よく沈み込み、肩口から頭までもしっかりとサポート。展開・拡張型のソファに対し、BIBBIはより個人のくつろぎを追求したソファです。



BIBBI by Anna von Schewen

リオ・オリンピック 三栄の公式卓球台

ピンポン球の描く放物線がモチーフという脚部のフォルムには、天童木工の成形合板技術が活かされています。天童木工がトライしたことのなかった、80mmもの厚みある成形合板。材には、東日本大震災の復興の願いを込め、被災地、岩手県宮古市産のブナ材を使用。美しいカーブをつくり出す造形力や塗装の仕上がりにも、家具職人の匠の技が凝縮。



Infinity by Shinichi Sumikawa

Cassina-ixclに新たな オフィスメーカー加わる

1961年創業のドイツ南部ティエリエンゲンを拠点にするオフィス家具メーカーInterstuhlのTANGRAMis5あらゆる組み合わせを自由に楽しむことのできるユニークなシステムソファ。形状は右・左片アームとオットマンのわずか3種類ながら、タングラムパズルのように組み合わせ次第で多様な「つながり」を生み出し、移動のしやすさにも配慮。



TANGRAM is5 by Andreas Krob/B4K

ligne rosetのPRADO 背クッション自由に配置

新しくソファをデザインするとき、形を重視し、新しいアクセントを付け加えるのが普通ですが、PRADOの場合は、人の生活や行動の研究から始め、新しいライフスタイルの提案を形にしました。背クッションと本体はセパレートになっており、背クッションは底面に滑り止めがついているため座面に置いても、床においても背もたれとして使用できる。



PRADO by Christiani Werner

3・in 1 chair COZY 3つの機能が1つのチェアに

KATOJIの子供椅子 COZYはハイ・ロー・ロッキングチェア3つの機能が組み替える事によって簡単に変身できるチェアです。テーブルを外してもフロントガードがついているので安心。カラーも全部で16種類の組み合わせがある。別売り専用クッションでカラーを変えることができる優れもの。2014年にはグッドデザイン賞受賞。本当にかわいくて、おしゃれな一脚です。



COZY by KATOJI

さかとういすが作る 喜多俊之デザインのソファ

10月大阪のLIVING & DESIGNにてひときわ印象に残ったのは喜多俊之氏がデザインした SAKATO のソファ。1人暮らしの女性がくつろげるソファ PIAZZA。アームの部分が折り畳みで簡単なベッドにもなる。もう一つはかわいいマフィンをイメージした1人掛けのソファ muffin。メイドイン大阪職人の張り技術を体感してください。



PIAZZA
by Toshiyuki Kita



muffin
by Toshiyuki Kita



SAKATO